

宮城・南三陸の防災林でボランティア キューアンドエー社員ら20人参加

コールセンター運営のキューアンドエー(仙台市)の社員とその家族ら20人が6月20日、宮城県南三陸町戸倉の海岸防災林で除草作業などのボランティア活動を行った。

同社は2022年、同町にオペレーションセンターを開設した縁で、沿岸林を再生する宮城県の取り組みに賛同。プロジェクトを「キューアンドエー

未来へつなぐ杜」と名付け、23年から0・3畝の防災林の管理を年2回実施している。

この日は参加者が経験などに応じて班に分かれ、担当区域を決めて作業。クロマツ林で、成長の妨げになるクズのつるを1本ずつ丁寧に取り除いた。

参加者からは「海岸防災林が地域に果たす役割を身近に感じられた」「継続して関わることで、未来の環境づくりにつながると感じる」といった声が上がった。

同社のプロジェクトは、25年10月に宮城県で初開催された全国育樹祭の記念行事に認定された。

